

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	学務課担当課長 石川 裕一郎	
教育-26	社会教育運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	教育総務課・生涯学習課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	「生きがい」や「自己実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。
効果	「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市PTA連絡協議会の活動に対し補助金を交付した。</li> <li>・会長会、役員会等への出席及び市長・教育長との懇談を設定する等、市P連の活動支援を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、スポーツ大会や文化のつどい等の交流行事は実施を見送った。代替行事の特別企画として、新型コロナウイルス対策を行いながら謎解きウォークラリーを企画・実施した。</li> </ul>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	PTA連絡協議会助成事業	市PTA連絡協議会補助金	各小中学校ごとの単位 PTAの市PTA連絡協議会への加入校数	17 / 17	70	17 70	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源			0	
			一般財源			70	
			事業費の合計(千円)		70 / 70	70	
		人件費(千円)			759	769	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	PTA連絡協議会助成事業	全市的なPTA活動推進のため、各学校の単位PTAが市P連に加入することが望ましいが、負担を軽減する方向にもあるため、現状維持を目標とする。	保護者からの要望を聞き取り、学校運営の改善につなげる等、学校・家庭・地域が連携して児童生徒への安全教育の実施と安全・安心な環境づくりを推進した。	PTA活動に関する役員及び保護者の負担を軽減するため、活動のあり方及び行事の開催等について検討を要する。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー
		小中学校保護者

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
PTA活動であるが、その有益性について保護者の理解を深めるため、補助金を効果的に活用し、PTA活動の必要性和存在意義について検証し、周知を図っていく。					
また、役員の負担を減らす活動のあり方や、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した行事等の企画・実施についても、検討していく必要がある。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	各小中学校ごとの単位PTAの市PTA連絡協議会への加入校数						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市PTA連絡協議会への加入により、全市的に連携した活動が期待できるが、PTA活動については役員の負担を軽減する方向にあるため、現状維持を目標とする。	目標値		17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
	実績値		17.0					
	達成率		100.0%					

指標(単位)								単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項								
団体名	鎌倉市	茅ヶ崎市	寒川町	藤沢市	逗子市	葉山町		
他市実績	68.0%	37.5%	100.0%	0.0%	75.0%	100.0%		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	他市との市PTA連絡協議会への加入率により、PTA活動による保護者・地域等の要望が、市全体の学校運営の改善にどのように反映されているか比較することができると思う。
--------------------------	---